

BIO Mimetics

バイオミメティクス・市民セミナー


木村 賢一 (北海道教育大学 教育学部 教授)

発生遺伝学と バイオミメティクス

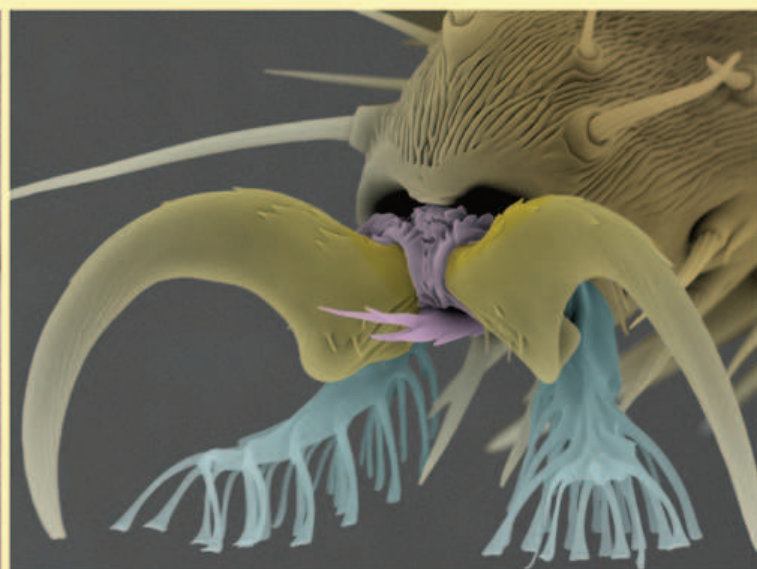
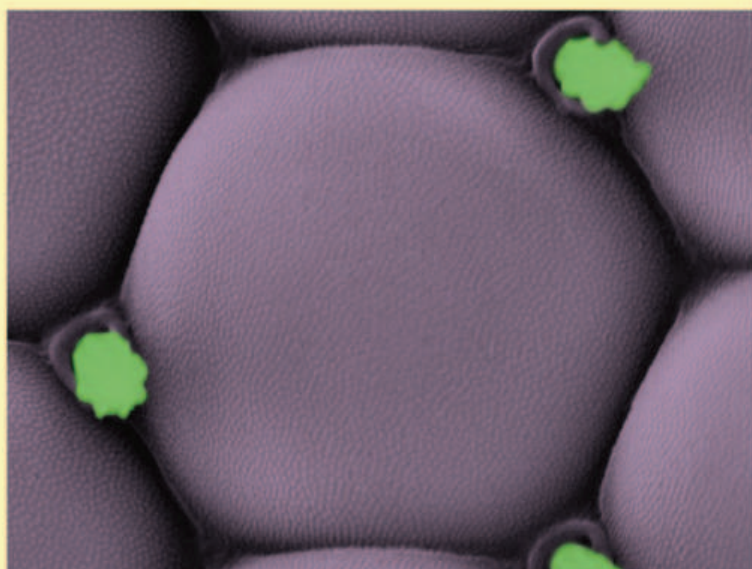
2013年 8月 3日 (土)

会場：北海道大学総合博物館 / 知の交流コーナー

時間：午後1時30分から午後3時30分



生物は、複雑な構造や機能を低いエネルギーコストで見事なまでにつくり上げてきました。生物がもつ機能や構造に加え、その形成過程も学び、つくり方まで模倣するというのが、今後のバイオミメティクスのひとつの方向性ではないでしょうか。生物の複雑な形づくりのための“レシピ(手順書)”は、遺伝子の中に書かれています。遺伝子の突然変異などを利用し、形づくりの材料を変えたり、レシピの一部を変更したりすると、できあがってくる生物の形も変化します。その変化の過程を観察し、形づくりのレシピを明らかにしていこうというのが“発生遺伝学”です。本セミナーでは、昆虫の微細なクチクラ突起構造のつくりかたについて紹介したいと思います。



主催：北海道大学総合博物館
共催：科学研究費 新学術領域「生物規範工学」
高分子学会北海道支部

問合せ先：北海道大学総合博物館
TEL. 011-706-2658 FAX. 011-706-4029
E-mail: museum-jimu@museum.hokudai.ac.jp

060-0810 札幌市北区北10条西8丁目